

## 平成 19 年度 清田区シニアスクール報告

日時：平成 19 年 11 月 21 日 9:00～10:30

講 師：船越 元(北電総合設計(株))

サポート：油津 雄夫(株エコニクス)

受 講 者：シニア 22 名

### 講義題目「バイオマスの利用と地球環境」

#### 1. 講義開始前の様子から

9 時からの講義開始との連絡を受けて、シニアの一人である私は遅刻だけはしたくないとの思いから、8 時 10 分頃に学校に到着。余りに早い登校にまだ玄関も開いていませんでしたが、すでに 10 名を超す子供達が玄関前でワイワイ言いながら玄関前で待っていました。

そこでまず驚いたのは、子供達が見知らぬ私に向かって全員「おはようございます!」と元気に挨拶してくれたことでした。いつも、「今の若い者は・・・」と嘆いてばかりいる私にとって本当に心が清められた感じがして、久しぶりに清々しい気持ちになりました。

8 時半を過ぎた頃ようやく玄関が開けられ、同行してくれた油津さんと教室に入りボケーと立っていましたら、数分もしないうちに受講者の方々が相次いで入室。机の並べ替えや床掃除などが始まりました。まさに受講者自らが全員の協力で教室の準備から後片付けをしており、この様な姿を子供達に見せることそのものが立派な実践教育になっていることを痛感しました。

#### 2. 講義の報告

私の授業は上記に示す「バイオマスの利用と地球環境」ですが、最近このテーマに関する TV・新聞報道も多いので、皆さんも内心では「そんなこと、知ってるワイ」と思っていると考えましたから、私は表の報道では分からない裏情報やバイオマス利用の陰の部分について話すことにしました。

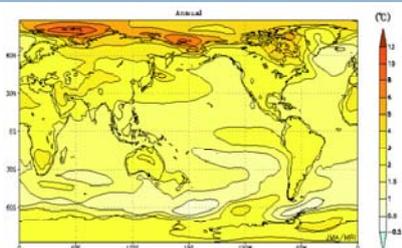
授業の最初では地球温暖化に関するシュミレーターを見ながら、北半球の高緯度になるほど温度上昇が大きく、100 年後には北海道付近で約 5℃も上昇する、そして、その結果として海水面が上昇し小さな島嶼国は相次いで水没する可能性があることなど、マスコミでもよく耳にするような話を中心に、1 時限目の授業をサラッと終えました。

～休 憩～

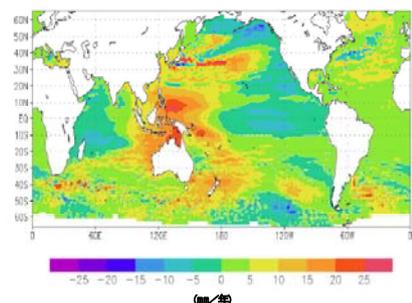
2 時限目の授業では一転して、一般に知られていないバイオ燃料を巡る最新の話として、私が現在携わっている生の情報も所々に混ぜながら話を進めました。

まず、「カーボンニュートラル」という言葉の意

#### 100年後の年平均気温の変化



#### 1993年からの海水面の変化



味について一般報道での解釈論を説明。次いで、この言葉に踊らされてはダメということの理由を説明。カーボンニュートラルとは、植物はそもそも炭酸同化作用(光合成)によって空気中の炭酸ガスを吸収することで成長するから、木を切って燃焼させても大気中のCO<sub>2</sub>は増加しないという考え方。しかし、これはあくまで燃焼した木の体積に匹敵する植樹が為されていて成り立つ話で、燃焼する樹木量に対しほんの僅かな小木を植樹してもカーボンニュートラルにはならない、と説明。しかし、植樹は大切なので、皆さんも身の回りの植樹に協力して下さい、と油津さんの活動をチョッと宣伝。

#### 受講生のかたがた



#### 授業風景



次に、アメリカやヨーロッパで広がっているバイオ燃料についての話題に移り、最初にマスコミが取り上げている様な論調で一通りの説明をして、その後にその背景には何があるのか、そしてこれを続けていったら日本はどうなるのか、更に日本にとってバイオエタノール生産の効果と影響などを、私見も含めて説明しました。

### 3. 余談

一通りの説明を終えて、さあ、これから受講生との意見交換をしようと思った矢先、「リリリーン、リリリーン」と2時限目終了のベル。ベルの音が鳴り止まないうちに、後ろのドアから子供達がドドッと入ってきてしまい、もう話も何もありません。私の周りに一人の子供がまとわり付いてしまい、「何をしているの?」という感じで離れません。

そこで、「話が途中で申し訳ありませんが、これで終わります!」と宣言して授業終了。

年間何度も講演する機会に恵まれ、概ね時間通りで完了することができる自信があった私でしたが、考えてみれば普段の講演では数分程度のズレは許容できた訳です。しかし、子供たちにとっては「終了ベルが全てであって、数分の許容はない」ということを痛感させられました。

受講生以上に私が勉強させられることの多かった一日でした。

それにしても、シニアスクールの参加者の平均年齢は私の年齢と大差なく、中には同年令や私より若い方も居られたのではないかと思います。すなわち、私は立派なシニアなのだ改めて感じました。頭の中では、「まだまだ、若い者には負けないぞ」と力んでいるのですが、そろそろ退け時なのかな?……